

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	JR 飯田線活性化期成同盟会イベント列車
事業主体 (連絡先)	JR 飯田線活性化期成同盟会 (駒ヶ根市赤須町 20-1 駒ヶ根市 総務部 企画振興課 電話 0265-83-2111)
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,392,097 円 (うち支援金 : 1,072,000 円)

事業内容

列車での旅を楽しむ機会や飯田線の利用促進を図るために、地域住民と協力をしながら、官民協働で事業を行い、飯田線を活かした地域活性の動きにつなげる

<事業一覧>

- JR 飯田線活性化期成同盟会イベント列車
 - ・コンテストトレイン (伊那市)
 - ・飯田線伊那谷溪谷列車の旅 (駒ヶ根市)



【親子で行く飯田線！伊那谷の未来をつなぐ夢列車！！】

事業効果

事業実施による

- ・直接効果…事業による飯田線利用者数 144 人
- ・間接効果…チラシ等啓発による乗車 265 人
- ・間接効果…商店全体の売上増加 300 万円
- ・間接効果 (事業の広報宣伝・啓発活動による効果)
 - …事業を目に留める方 53,000 人



【飯田線伊那谷溪谷列車の旅】

【目標・ねらい】

- ①地域住民が飯田線の利用促進や地域活性化について考えるきっかけづくりとし、同盟会と協働で事業を行う。
- ②他団体との連携を行い、相乗効果を生み出す。

今後の取り組み

平成 39 年の開業が予定されているリニア中央新幹線が生み出す整備効果によって、伊那谷の新たな飛躍が期待されている。飯田線は日本の大動脈となるリニア中央新幹線のアクセス路線として期待がある。またこの地域は、美しい自然・景観に恵まれており、貴重な観光資源を持っている。今後も引き続きこうした分野も取り入れながら、飯田線の利用促進に向け、官民協働で進んでいきたい。

※自己評価【 A 】

- ①提案型の事業により、新たなターゲットへ利用促進ができた。
- ②多くの地域住民を巻き込んで事業を行なったため、地域の活性化の成果を得た。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある